

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	男女共同参画社会づくり事業				会計	款	項目	大専	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	企画政策課			
施策	6-4	男女共同参画社会づくり			主管課長	須郷 和彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民（市内在住・在勤・在学者）	意図	男女が互いの人権を尊重しつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮するようになる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画基礎講座などの啓発事業 女性が抱える悩みや諸問題を解決するための相談業務 男女共同参画審議会の開催と第3次プランの推進 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年に女性担当室を設置し、男女共同に関する市民意識の把握や職員意識改革のための研修等を開始。 男女共同参画審議会の答申を基に「男女共同参画プラン」を策定し、事業を推進。 平成29年度から女性相談員による「女性の生き方相談業務」を開始。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	男女が平等に扱われていると思う市民の割合	21.40	34.80	35.20	%	↑↑↑
②	「男は仕事女は家事育児」という見方をする市民の割合	9.20	11	9.80	%	↓↓↓	まちづくり達成度アンケート	
③	審議会等への女性の登用率	35.70	35.40	35.80	%	↑↑↑	審議会等状況調書	
④	家事参画を十分に行っていると回答する男性の割合	20.40	21.60	35.60	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート	
⑤	女性の生き方相談者数			65	人	→→	業務実績	
⑥	女性の生き方相談での相談件数			118	件	→→	業務実績	
指標で表すことができない定性的な成果	女性相談者の不安や悩みの軽減				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・男女共同参画社会の形成に向けた講演会、女性のキャリア形成に向けた講座など年間全24回の啓発講座や講演会を開催した。 ・LGBTに関するパネル展を開催した。 ・啓発紙『結ながれやまVol.16』を発行し市内公共施設へ配架した。 ・女性の抱える様々な悩みや問題に関する相談窓口を創設。相談者が自らの力で問題を解決できるように支援するもので男女共同参画の視点を備えた経験豊富な女性の相談員及びカウンセラーが月3日間対応した。			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,793,515	8,397,047	9,159,458				
事業費(b)(円)		2,016,515	2,218,547	3,118,658				
うち一般財源		2,016,515	2,218,547	3,118,658				
職員給与と費(c)(円)		6,777,000	6,178,500	6,040,800				
人役・職員(人)		0.90	0.90	0.90				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	不安や悩みを抱える女性の相談の機会を設ける。	③取組の課題	男女共同参画の意識の向上は多少は図られつつあるが、未だ十分とは言えない。地道な啓発等の取り組みの継続が求められる。
②今年度(H29)に実施した取組	「女性の生き方相談」を開始し、広報紙掲載のほか、周知カードを作成し、各施設に配架した。	④今後(H30以降)の改善計画	第3次プランの振り返りを行い、次期プランの内容の検討を行います。